


障害者
クロスカントリースキー
日本チーム
監督
荒井 秀樹氏

1955年生まれ。旭川出身。障害者クロスカントリースキー日本チーム監督、日立ソリューションズスキー部監督。パラ×Cスキーの組織化、選手強化、指導、育成を進めながら、パラリンピック、世界選手権、ワールドカップの各大会において優勝者を輩出している。



ロンドンパラリンピック
ウィルチェアー
ラグビー
日本代表
池崎 大輔氏

1978年生まれ。函館出身。幼少の頃、手足の筋力がなくなる難病にかかる。車いすバスケットをしていたが、障がいの進行で難しくなり、2008年ウィルチェアーラグビーで挑戦を始める。2010年日本代表となり世界選手権ではベストプレイヤー賞を受賞。



リオ2016
パラリンピックを
目指す
車いすテニスプレイヤー
二條 実穂氏

1980年生まれ 旭川出身。女性の視点を活かす大工となり、建築足場から転落して脊髄を損傷し23歳で車いす生活となる。新しい夢の実現にと横浜に拠点を移し世界への挑戦を始め、2016年のリオデジャネイロパラリンピックでのメダル獲得を目指している。

■ トークセッション出演者紹介




障害者
クロスカントリースキー
日本チーム
監督
荒井 秀樹氏



国土交通省観光庁観光産業課
課長 **石原 大氏**
1968年生まれ。1992年旧運輸省入省。国土交通省で自動車、航空、観光などを担当。2013年8月より現職。神奈川県鎌倉市出身。




日本バリアフリー
観光推進機構
理事長
中村 元
アンカーマン



沖縄バリアフリー
ネットワーク会議
代表
親川 修

NPO法人バリアフリーネットワーク会議代表。沖縄市内で児童デイサービス事業所や保育園等を運営。那覇空港「しょうがい者・こわい者観光案内所」を設置し、「安心と安全は平等に」をテーマに観光案内やサポート事業等を手掛ける。




カムイ大雪バリアフリー
ツアーセンター
センター長
五十嵐 真幸

車いす利用者として、カムイ大雪バリアフリーツアーセンター長、北海道運輸局バリアフリーリーダーを務め、誰にもやさしいまちづくりイベント企画を担っている。障がい者スポーツ中級指導員として、パラスポーツ普及拡大やサポートも行っている。

1956年生まれ。伊勢志摩バリアフリーツアーセンターの理事長でもあり、バリアフリー観光の伝道者。サンシャイン水族館など話題の水族館プロデューサーとして活躍、全国各地の水族館を手がけながらバリアフリー観光を広めている。著書に「恋に導かれた観光再生」など多数。

■ バリアフリー観光先進事例発表

佐賀嬉野
バリアフリー
ツアーセンター



「車いすテニスと温泉観光」
健全者のプレイヤーとペアを組んでプレーするミューミックステニス大会。毎年1回開催され今年で7回目を迎える。またテニスだけでなく入浴介助ヘルパー派遣による温泉入浴介助のシステム開発など、温泉観光地として取り組みが進む。

発表者 小原 健史

松江/山陰
バリアフリー
ツアーセンター



「視覚障がい者の旅を支援する様々な技術」
全国各地から高い評価を受ける島根県松江市での取り組み。視覚障がい者のまち歩きや旅を支援する情報提供や支援技術、デージー、携帯ラジオやスマートフォンなどの端末を使った移動支援開発など、様々な支援を展開している。

発表者 田中 隆一




国土交通省
観光庁
観光産業課

「国のユニバーサルツーリズム推進について」

誰もが旅行を楽しめる環境を整備するため、ユニバーサルツーリズムの普及促進について調査・検討を実施。「地域の受入体制強化マニュアル」を作成したほか、旅行商品の供給促進に向けた具体的な方向性を取りまとめ、ユニバーサルツーリズムに対応した地域及び旅行会社の増加に取り組んでいる。

発表者 課長 石原 大氏


沖縄
バリアフリー
ツアーセンター



「海のバリアフリーアクティビティ」
チェアポートを使った海での遊びなど、様々なアクティビティ開発により、修学旅行のメニューにもなり、学習効果や修学旅行の集客にも優れた受入体制を構築。多くの障がい児のアクティビティを可能にしている。

発表者 親川 修

カムイ大雪
バリアフリー
ツアーセンター



「パラスポーツ観光とまちづくり」
全開雪あそびや搾乳体験など障がい者に合わせフルシーズン思いっきり遊べる北海道。冬は雪でつくったスロープ！夏は車いすで担げるUDみこしなど誰もが安心して楽しめるイベントやまちづくりを障がい者スポーツの仲間達と進めている。

発表者 五十嵐 真幸

日本バリアフリー観光推進機構が、バリアフリー旅行をリードします。

日本バリアフリー観光推進機構は、バリアフリー旅行を一定の水準で全国的にサービスするために誕生した組織です。バリアフリー観光に取り組む観光地によって組織され、体の不自由な旅行者からの旅の相談を、観光地の相談センターで直接受けることで、個人個人の満足度が大切にされるべき本来の「観光」を、ユニバーサルデザインの考え方のもとで実現する『パーソナルバリアフリー基準』を運営しています。(パーソナルバリアフリー基準は、2011年より日本バリアフリー観光推進機構が、全国のバリアフリー観光地の統一基準として採用運営をしています)

■ 日本バリアフリー観光推進機構のメンバー(法人格を省略します)

- 北海道(旭川):カムイ大雪バリアフリーツアーセンター/宮城県:ゆにふりみやぎ/福島市:ふくしまバリアフリーツアーセンター/東京・関東:東京バリアフリーツアーセンター・高齢者・障がい者の旅をサポートする会/伊豆:伊豆バリアフリーツアーセンター/三重県:伊勢志摩バリアフリーツアーセンター
鳥取県:トラベルフレンズ・とっとり/島根県:プロジェクトゆうあい/呉市:呉サポートセンターくれシェンド/新居浜市:四国バリアフリーツアーセンター
福岡市:バリアフリーネットワーク九州会議/佐賀県(嬉野市):佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター/沖縄県:沖縄バリアフリーネットワーク会議/愛知県:チクトラベルセンター/兵庫県:しゃらく/石川県:石川バリアフリーツアーセンター/鹿児島県:eワーカース鹿児島